

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(中ノ町小)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 年間4回の会を重ねるにつれ、委員同士が何でも言い合える関係になり、互いの信頼を深めることができた。設置1年目の本年度の目標とした「基本方針を理解すること」「学校の現状を知ること」を目指し、委員全員が様々な立場、視点から活発に意見を出し合えた。
- 校長の示す基本方針について説明を受けたり、熟議をしたりした。それらを通し、学校・家庭・地域が一体となって子供を育てていかなければいけないことを改めて実感できた。次年度はその方向性を共有して具体的な活動につなげていきたい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 1年目は、具体的な活動に結び付くことが少なかったが、「基本方針を理解すること」「学校の現状を知ること」を目指して熟議を重ねることを通し、学校の強みと弱みを知り、学校とつながるポイントを知ることができた。また、教育活動の計画から評価までの流れに積極的に参画することができ、次年度への足がかりとなった。
- 学校支援コーディネーターからは、主に学習支援に関する本年度の活動、次年度に向けた活動計画や構想が報告され、熟議によりさらに発展した提案もされた。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 各委員が学校教育をさらに理解し、熟議をより深め、教育活動の充実のため協議会の合議としての意見をまとめる。
- コロナ禍で途切れた活動を保護者、地域等と関わりながら子供にとって、いかに有効なものにしていくかをはじめ、外部講師やボランティアの組織化、音楽部、学校周年行事等について考える。
- 各委員の立場を生かし、保護者、地域への周知を積極的に進め、理解と参画につなげる。

<評価項目4～> ( )

--